

パネル発表概要一覧

会場	番号	発表時間	発表題目	発表概要	代表者名	大学
2階 ホール	1	10:00-15:50	地域経済活性化の方策	日本における地域経済格差を是正し、地域経済を活性化させるためには何が必要なのか。私たちは地域間経済格差の要因として、地域間の所得格差に着目した。地域間所得格差の要因としては、地域間で(1)労働生産性の違い(2)生産年齢人口の分布の違いがあることを示した。さらに地域間経済格差拡大の背景には公共事業の削減が影響していることを指摘した。これらの分析を踏まえ、地域間の所得格差是正の方策を考察した。	村本 敬介	京都産業大学
	2	10:00-15:50	企業の持続的な存続に関する研究 —コーポレート・アイデンティティと企業戦略の観点から—	現在、パナソニックやシャープなどといった国内の大企業が相次いで経営危機に陥っている。その一方で、組織や経営規模の大きさに関わらず長期間に渡って経営継続している企業が日本には、数多く存在している。こういった企業が持続的に経営できている要因を分析すれば、競争優位性の低い企業や、経営危機を抱えている企業の発展あるいは再建に寄与すると考え、本報告において取り上げることとした。	太田 晴子	立命館大学
	3	10:00-15:50	持続可能な創造都市 —飯田モデルの意義と展開—	地域の資源を、地域住民が主体となって活用し、自律的に発展させていくことで可能となる地域の内発的・持続的発展について、長野県飯田市を基本ケースとして考察をする。そのために、経済・環境・文化に焦点を当て、地域企業の協力関係および地域全体での競争力向上、経済自立戦略の中に組み込まれた環境政策、地域社会の土台となる人づくり・地域づくりに広い外部性を発揮する文化政策について調査を行った。	堀内 遥奈	立命館大学
	4	10:00-15:50	都市遺産概念を拡大する ～都市の記憶の継承のために～	東京五輪開催で盛り上がる昨今、全国各地で様々な開発行為が行われている。しかし開発によって都市の利便性が向上する一方で、その都市を形成している様々な要素が破壊されてしまう恐れがある。そこで私たちは既存の政策ではこれまで評価をされなかった現代に生み出された空間を新たに遺産として捉えた。今日のように乱暴に開発するのではなく、都市の個性を語るそれら遺産を未来へと継承させるために都市遺産概念を拡大していく。	藤野 里咲	龍谷大学
	5	10:00-15:50	我が国のオープンデータの取り組み	公的機関の持つデータを誰もが二次利用しやすい形式で公開するというオープンデータの取り組みはアメリカを筆頭に世界的に活発化しており、数多くのイノベーションを促進する要因となっているのだが、我が国における取り組みは先進国の中で遅れていると言える。そこで、日本でこれからオープンデータが普及するにはどのような条件が必要なのか、また、どのような影響がもたらされるのかを調査し、これからのオープンデータに対する行政の取り組みを検討することが本研究の目的である。	柴田 謙真	立命館大学
	6	10:00-15:50	龍安寺参道商店街プロジェクト	日本の商店街は衰退しシャッター街化が深刻になっている。立命館大学の裏門を出てわずか数百メートルのところにある龍安寺参道商店街も衰退し、シャッター街化している商店街の一つといえる。研究目的は、龍安寺参道商店街の活性化の糸口をみつけることである。書店主、近隣住民、立命館大学生へのアンケートもしくはヒアリング調査を行うことで、龍安寺参道商店街の活性化に向けて研究し政策提案の糸口を見つけていく。	川上 萌仁香	立命館大学
	7	10:00-15:50	住民参加による地域活性化 ～長野県飯田市における環境分野の取り組みを事例に～	飯田市は、日本で初めて市民ファンドによる太陽光発電を導入しており、また環境モデル都市に指定されているなど、環境分野において先進的な取り組みをしている。その取り組みは単に行政が主体となっているのではなく、住民や事業者との密接な連携の下に成り立っている。そこで、飯田市における取り組みを事例として、それぞれがどのような役割分担・連携を行っているかを整理し、他自治体への応用の可能性についても言及する。	大橋 佳菜莉	立命館大学
	8	10:00-15:50	TMOによる中心市街地活性化法 ～飯田市を事例に～	中心市街地活性化の取組を行っている地域、長野県飯田市で実際に行われている様々な政策について調査することで見えてきた現状と課題について発表する。	久米 由香子	立命館大学
	9	10:00-15:50	出町のまちづくり ～学生が地域に入るとは～	私たちのゼミは、上京区特に出町商店街界隈のまちづくりについて学習しています。同志社と京大の中間に位置する出町商店街。今回の交流大会では、学生街を抱える商店街ならではの地域と学生の交流であったり、これから商店街がより繁盛するための新たな魅力の創出のアイデアについて発表したいと思います。	片山 大輔	同志社大学
	10	10:00-15:50	社会と個人の時間を考える時間政策によるまちづくり —今後の日本における個人の時間とコミュニティの再構築—	2回生時フランスの時間政策を研究し、より学びを深めるために今年の夏に時間政策の発祥の地であるイタリアに訪問調査した。この2年間の集大成を日本のまちづくりの展望を含め発表したいと思う。	多田 楓	立命館大学
	11	10:00-15:50	宮崎県延岡市のチキン南蛮党のまちおこしについて	宮崎県延岡市では、「チキン南蛮党」という市民団体が結成され、延岡市が発祥の地とされている「チキン南蛮」を使ったまちおこしがはじめられている。延岡市はもとも工業都市で、交通の便に恵まれていないこともあり、従来観光にはあまり力が入られていなかった。そのようなまちで、「チキン南蛮党」がどのような取り組みを行っているのか、現地調査の成果も含めて発表したい。	塚本 聡	佛教大学